

## 2023年度の学校評価

本年度の 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全体を通して、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めることを目指す。</li> <li>・主体的に学ぶ姿勢を育み、学力の基礎・基本を養成するための授業改善を推進する。</li> <li>・キャリア教育の理念に立ち、一人ひとりの進路目標の実現に向けて支援体制の充実を図る。</li> <li>・円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を維持する。</li> </ul>		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
広報活動 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的な広報活動を展開する。</li> <li>・PTA活動の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生やその保護者の関心を高める学校案内を作成する。</li> <li>・学校説明会・体験入部の実施などにより、本校進学を志す中学生向けの広報活動を推進する。</li> <li>・教職員とPTAとの連携を強めることで、学校の活性化を図るとともに、保護者の意見を取り入れ、PTA活動が活性化するように工夫する。</li> <li>・PTA授業参観を昨年度の反省を活かして綿密に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内は、管理職と担当者等と報告・連絡・相談を行いながら作成する。</li> <li>・学校案内と学校説明会・HPと連携して、戦略的な広報活動を展開できるようにする。</li> <li>・昨年度に引き続き、PTA主催体験講座を学校としてサポートする。</li> <li>・保護者の方に好印象を持っていただけるように、清掃を丁寧に実施し、教室の見え方をよくし、校内の案内も工夫する。</li> </ul>
授業の活性化 (教務部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒主体の授業実践を目指し、ICT活用も含めた授業改善に取り組む。</li> <li>・3年間を見通した指導計画に基づいて「総合的な探究の時間」を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業や研究授業の実施を推進し、授業改善に取り組む雰囲気醸成する。</li> <li>・本校が長年組み立ててきた計画をベースとし、外部資源も活用しながら、生徒が自ら課題を見つける活動を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実情に即した授業改善となるよう留意する。</li> <li>・外部の研修などを通して他校の情報も集め、優れた取り組みを積極的に取り入れる。</li> </ul>
キャリア教育の推進 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集と情報の整理(全学年)</li> <li>・進路意識の高揚(3年)</li> <li>・職業観の醸成(1・2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究の時間を活用する。</li> <li>・進路講演会や進路別ガイダンス等で情報を提供したり、整理したりする。</li> <li>・模擬試験や学年と連携した特別講座等で実力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LT、総合的な探究の時間を学年と相談しつつ計画的に活用する。</li> <li>・担任会、学年会、進路検討会等を活用し、教員間でも情報の整理や、情報交換を積極的に行う。</li> </ul>
交通安全 (生徒指導部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を守る事の大切さを伝え、時間的余裕を持たせる事により、通学マナーの向上と交通事故防止を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を守る事の大切さを集会等で伝え、主体的に時間を守るよう行動を促す。</li> <li>・自転車利用五則を周知徹底させる。</li> <li>・安全委員の活動を促して自発的な安全行動を引き出す。</li> <li>・交通安全教室を通して、交通ルールの重要性や命の大切さを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安易に遅刻をさせない雰囲気を作り出す。</li> <li>・重点項目を明確に示し、職員全体で指導する。</li> <li>・自他の命を大切にするとともに、将来を常に意識させる指導を心掛ける。</li> </ul>
特別支援 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする生徒への早期発見と支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康調査結果から把握した健康課題に関して早期対応をする。</li> <li>・学年会・学年主任者会等で各学年の問題のある生徒について情報交換を図る。</li> <li>・相談担当の教員、担任、SCと情報交換し連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期に健康注意者リストを作成し関係する職員と情報共有する。</li> <li>・SCへの相談内容や状況を関係職員に連絡し、必要に応じて個別の支援対策会議を実施する。</li> </ul>
学校行事 (特別活動部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康や安全に十分に配慮した、生徒が主体となつて行える生徒会行事を企画する。</li> <li>・部活動時間を厳守させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育的行事は生徒の現状に合わせた内容になるよう考案する。</li> <li>・細部まで配慮した丁寧な文化祭の要項を作成する。</li> <li>・生徒会行事は、生徒が自らの手で作り上げていくことを理解させる。</li> <li>・生徒の役割分担を明確にする。</li> <li>・部活動の活動場所を巡回する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目を見直したり、実施方法を工夫したりする。</li> <li>・留意点など、より具体的な内容にしていく。</li> <li>・機会あるごとに生徒に向けて、行事は自分たち自身で作り上げるよう自覚を促す。</li> <li>・巡回指導も適宜行っていく。</li> <li>・部顧問との連携を密にとっていく。</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
読書活動 (図書情報部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書啓発(朝読の充実)</li> <li>教科における図書館利用の活性化(調べ学習等)</li> <li>校務及び授業におけるICTの利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の図書館利用を促進し、朝読のより一層の充実を図る。</li> <li>公立図書館の団体貸出を利用した教科活動や総合的な探究の時間の利用を促進する。</li> <li>情報機器の整備と充実化を図ると同時に、職員ICT研修などのICT啓発活動も引き続き行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書委員を活用し、季節の「図書館イベント」を充実させ、生徒を図書館に呼び込む工夫をする。</li> <li>授業での調べ学習などの図書館利用方法を紹介し、支援する。</li> <li>情報通信技術支援員を効果的に活用する。</li> </ul>
基本的な生活習慣の確立 (第1学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊高生として必要な基本的な生活習慣を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「朝読」指導を始めとして、授業規律の遵守や身の回りの整理整頓など落ち着いて学習に向かう環境を作る。</li> <li>授業を中心に、特別講座や模擬試験を交えながら、学習に向かう姿勢を作り、進路意識を高める。</li> <li>行事に積極的に参加させ、学校生活の楽しさを実感させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団行動を送る上で必要な、基本的なルールやマナーを守らせる。</li> <li>課題の指示を的確に行い、自宅学習の習慣化を図る。</li> <li>文理選択が適切に行えるように、進路意識を醸成する。</li> <li>学年全体として、行事に積極的に取り組める環境を作る。</li> </ul>
中心学年としての役割を果たす (第2学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの進路意識を高め、進路目標を具体化する。</li> <li>行事等において中心学年としての役割を果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な時期に必要な進路情報が得られるよう、生徒に情報収集の方法を示す。</li> <li>行事におけるリーダーを育成し学年のけん引力とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育を実践するにあたり、視野を広げた選択を意識させるため、オープンキャンパスや進路ガイダンスなど外部の情報も活用させる。</li> <li>総合探究やLTの時間を利用して、修学旅行の事前学習や学校祭の企画にじっくり取り組ませる。</li> </ul>
進路指導 (第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らが求める生き方を具体的にイメージさせ、その実現のために必要な進路を選択させる。</li> <li>希望の進路を達成するための学習環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧な個人面談を行い、一人一人の適性や希望を把握する。</li> <li>主体的な進路選択に向けて進路ガイダンス等を実施し、適切な時期に必要な進路情報を提供できるようにする。</li> <li>特別講座、模擬試験の重要性を理解させ、積極的に参加させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な探究の時間の活動を通して、自らが参画する社会についての具体的なイメージをもたせる。</li> <li>生徒の進路先についての情報を収集し、合同LTや面談を利用して生徒や保護者に的確に伝える。</li> <li>多様な入試形態に対応できるように、進路指導部と連携を図る。</li> </ul>
いじめ防止対策の推進 (いじめ不登校対策委員会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの未然防止に係る取組を充実させる。</li> <li>いじめの早期発見、適切な事案の対処に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、生徒が主体となっていじめ防止をテーマとした活動を行う機会を設ける。</li> <li>いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。</li> <li>いじめアンケートの実施方法や、その後の対処の在り方について検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がいじめ問題をはじめ、人権についても主体的に考え、自身にも関わる問題と捉えられるようにする。</li> <li>学校いじめ防止対策組織の役割を生徒や保護者に周知することで、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを行う。</li> <li>生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法、その後の組織的な対応の在り方について検討する。</li> <li>情報やアンケート結果だけに偏らず、職員自らも生徒の観察に注力する。</li> </ul>
勤務管理の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の適正化を図り、教職員の健康維持に配慮した体制の維持に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在校時間等の状況記録の集計結果等を衛生委員会で確認し、1か月間の時間外労働が80時間を超える教職員に対して、その都度面接指導の希望の有無について確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の年次休暇の計画的な使用を促進するための環境整備に努め、年5日以上年次休暇が確実に取得できるように配慮する。</li> <li>時間外勤務の教職員に、勤務時間の割振り変更を促す。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用による、生徒が主体的に取り組むための授業改善</li> <li>基本的な生活習慣の確立と通学マナーの向上</li> <li>地域に根差した学校にするための具体的取組</li> </ul>		